

令和6年度授業紹介「在宅看護学Ⅰ：目標志向型看護とは」

Let's Talk Cardで語り合う“今自分にとって大切なこと”

看護学科2年生、在宅看護学Ⅰの目標志向型看護を学ぶ授業で、「Let's Talk Card」ゲームをしました。自分らしい人生を生きる、この目標志向型の実践を理解するためには「自分らしさ・本人の意向や希望」を考えることが必要です。このカードゲームは自分らしさを考える機会を提供するために開発しました。「よい人生だと思える」「自分の話を聴いてくれる人がいる」「好きなものを美味しく食べられる」等の45枚のカードを使って、“今自分にとって大切なこと”を考え、語り合います。学生は4~5人のグループになり、一人5枚ずつ配られたカードの言葉を読みながら実施しました。順番にカードを交換し、最後に自分の手元に残った5枚から最終的に最も大切な3枚を選びます。学生は「どのカードを選ぶか、カード遊びだけど悩んだ」「友達の選ぶカードを見て面白いと思った。」等お互いの感想を共有しました。時間の経過や状況が変わることによって大切なことも変化する場合があります。次に実施する機会では学生たちの今大切なことも変化しているかもしれません。

(在宅看護学Ⅰ担当教員：片山陽子)



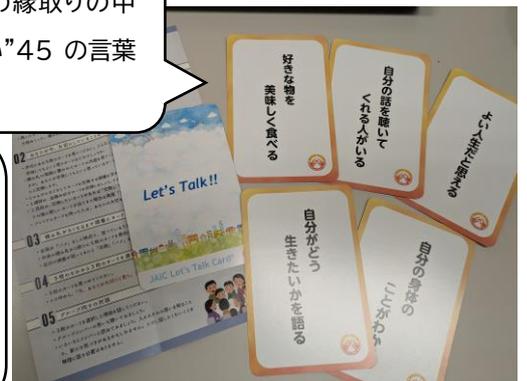
「へー、そうなんだ。」「私は、こっちのカードが…」
等々、学生たちのおしゃべりがはずみず



文字側：オレンジの縁取りの中に“今大切にしたい”45の言葉が書かれています



最後に、なぜ3枚のカードを手元に残し、2枚のカードを選ばなかったか、自分の思いをグループの人に話します



「私は『お金の心配がない』は捨てられないわ」
「『家族や大切な人と一緒に過ごす』も大切…」
「3枚選ぶの難しい…」

カードのことを詳しく
知りたい人は ↓



「お友達の話を聴くのも、自分の話を聴いてもらうのも、楽しかったね」